



年頭のぞいあつ



田上町長 佐野恒雄

あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

二〇二二年は、月を象徴した十二支は「寅」、太陽を象徴した十干は「壬」（みずのえ）で、干支は「壬寅」（みずのえとら）になるそうです。「壬寅」は、「厳しい冬を越えて芽が吹き始める」といった意味があるそうです。

月日の経つのは早いもので、町長の職に就かせていただいてから早三年半が経ちました。

丁度、めぐり合わせということもあり、就任から今日まで、田上町交流会館、道の駅がみ、田上町地域学習センターのオープン、国道四〇三号バイパスの新潟方面の開通といった大きな事業が完了しました。

また、この二年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで当たり前にできていたことが、決して当たり前ではなくかけがえのないものだったということを感じました。様々な活動が思うように出来ずに歯がゆい思いもしました。その中で、町民の皆様から感染症

対策に取り組んでいただいているおかげで、町内での感染拡大を防ぐことができていると考えております。感染症対策、感染症拡大防止にご理解、ご協力いただいておりますこと、深く感謝申し上げます。新たな変異株の心配もありますが、久しぶりに家族と落ち着いた正月を過ごされた方も多かったのではないのでしょうか。

一方で、新型コロナウイルス感染症による町民の皆様への経済的影響は、一部、持ち直してきたとはいえ、いまだ厳しい状況もあります。町ではこれまで、困っている町民の皆様への支援を中心とした施策を講じてきました。これからも、状況の把握に努め、より効果的で適切な対策を講じてまいります。

また、令和四年度はこれからの十年間のまちづくりの指針となる第六次総合計画、第二次総合戦略のはじまりの年となります。人口減少など様々な課題がある中でも、「あなたの願いがまちをつくり、あなたの想いがまちを変える」を理念に「誰もがずっと住み続けたいまちがみ」の実現に向けて取り組んでまいります。

「厳しい冬を越えて芽が吹き始める」という「壬寅」の年、田上町が更に「高く羽ばたく年」にしていきたいと考えております。

新しい年が町民の皆様にとりまして、幸多き年になりますことをご祈念申し上げます、年頭のあいさついたします。

